

令和8年度佐賀県立武雄高等学校グランドデザイン

1 スクール・ミッション

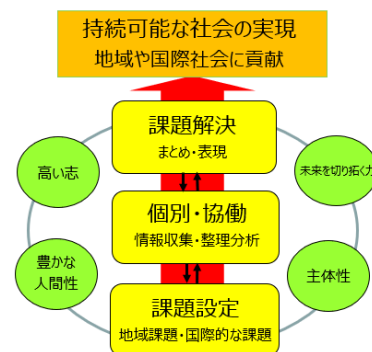
- 西部地区唯一の県立中高一貫教育校として、6年間を見据えたカリキュラムに基づく教育実践を更に充実させる。
- 自治体との連携等による探究を中核とした学びを一層推進し、これからの時代を生き抜く資質・能力を涵養し、地域や国際社会が抱える課題の解決に対して主体的に行動できる人材を育成する。

2 校是 質実剛健・報恩感謝

3 スローガン “TAKE OFF!”—TAKEO Future Frontier— (未来の開拓者たれ)

4 学校教育目標 (右はイメージ図)

高い志と未来を切り拓く力を持ち、多様な人々と協働しながら、持続可能な社会の実現を目指して、地域や国際社会が抱える課題解決に向けて主体的に行動できる人間性豊かな人材を育成する。



5 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

[卒業までに身につける力]

- ① 「確かな知識」、「幅広い常識」、「温かな良識」、「鋭い見識」に基づいて自分なりのものの見方をもち行動できる力を育成します。
- ② 高い志を持ち、先を見とおしながら主体的・自主的に何度でも挑戦し、その取組に対して自分の言葉で振り返ることができる力を育成します。
- ③ 自分の個性や強みを生かすとともに、多様な考えを尊重しながら、他者と協働して課題解決に向けて取り組むことができる力を育成します。

(2) カリキュラム・ポリシー (教育課程編成及び実施に関する方針)

[めざす目標・展開する教育活動・指導の観点]

- ① 問題を見出し解決しようと試行錯誤する過程において自分の考えを形成し、協働しながら新しい意味や価値を創造する「探究」を中核とした6年間の教育活動を推進します。
- ② 各教科や総合的な探究の時間、ロングホームルーム、様々な課外活動においてたくさんのTry & Errorを体験しながらしなやかで逞しい自己調整力・自己回復力を養います。
- ③ 学問的な面白さに誘う学習過程、習得した知識を活用し考えさせる学習過程、「なぜ(Why)」と「どのように(How)」を大切に学習過程を実践します。

(3) アドミッション・ポリシー (入学者受け入れに関する方針)

[入学時に求める生徒像]

- ① 進路希望の達成に向け、基本的な生活習慣と学習習慣を身につけ、学校生活を大切にし、真剣に学ぶ意欲を継続的に持とうとする生徒を求めます。
- ② 質の高い文武両道の実現という本校の伝統を大切にし、学業及び課外活動に対し主体的・積極的に取り組み、自己の向上を図ろうとする生徒を求めます。
- ③ 社会や他者との関係を考えながら、目標を持って、自分の言葉で考え、自分の判断に責任を持ち、主体的に行動し、謙虚に内省しようとする人を求めます。
- ④ 学校生活の様々な場面で集団活動の活性化に寄与しようとする生徒を求めます。

6 本年度の重点教育目標

- ① 生徒の自主性・主体性を育む教育活動を推進する。
 - ア 生徒主体の教育活動（学校行事・部活動等）を推進する。
 - イ 各教科等において生徒指導の3機能（自己決定の場・自己存在感・共感的な人間関係）を踏まえた授業を実践する。
- ② 探究する力の育成を中核に据えた教育活動を推進する。
 - ア 総合的な探究の時間等を中心として探究の基本スタイルを習得させる。
 - イ 外部機関等と連携した取組への積極的参加を促し探究力を向上させる。
- ③ 全教職員による学校課題の解決に向けた共通理解と共通実践を推進する。
 - ア 大学入試共通テストや個別大学試験に対応できる授業力を磨くための授業研究を推進する。
 - イ 広報活動への意識を持ち、当事者として中学生に選ばれる学校教育活動に協働して取り組む。

7 参考 佐賀県教育大綱 Vol.3（令和6年1月策定）

佐賀県教育委員会 HP に掲載



佐賀県教育大綱 Vol.3

— 人づくり大県 さが —

自分で自分のことを決められる子どもに育てたい。
グローバル化の進展、先の見通せない国際情勢、AIの進化など新しい時代への大きな動きの中で、佐賀県は人の果たす役割の大きさ、そして人づくりの大切さを改めて感じています。

だからこそ、人が成長していく過程で、子どもたちをとりまく家庭や学校、地域が様々な生き生きとした環境をつくり、子どもが挑戦できる、そしてそれを応援できるようにしていきたいと思えます。

そして、人の痛みや辛さをわかる子どもたちを育てたい。
高い志と佐賀への誇り、そして優しさを持った「骨太な子ども」を育てるため、「絆」に取り込まれることなく、トライ＆エラーを重ねながら個性を伸ばしていく、そんな教育県佐賀「人づくり大県 さが」を創っていきましょう。

佐賀県知事 **山口祥義**

2024年1月～2027年3月

高い志と佐賀に誇りを 持った骨太でたくましい 子どもを育てる

多様な経験を通して、子どもたちはたくましく成長します。子どもたちの考えを尊重し、失敗を恐れない挑戦を応援していきます。



- 自分で考え伸びようとする姿勢を応援
- 苦しい時に相談しやすい環境づくり
- 勉強・部活・アルバイトなど子どもが主体的に選択できる環境づくり
- ほめるから、はじめる。はじめる。
- 高校生までに様々な経験を重ねる
- スポーツ・文化など唯一無二の学校づくり
- 校則など自分の学校の在り方について生徒主体で議論できる場の創出
- 地域と学校が連携したその地域の特徴を活かした取組
- 佐賀の良いところを自信をもって話す子どもを育む

豊かな感受性や 人を想う優しさを持った 子どもを育てる

新型コロナとマスクの日々で失われた子どもたちの交流と豊かな表情を取り戻し、自然に支え合う子育ての場を創っていきます。



- それぞれが自然な形で充実した人生を送れる社会の確立
- 佐賀で育ち、佐賀で学ぶ楽しさの醸成
- 一人の人格を持った者として子どもと向き合う
- さがすたいを広げて意識と行動を変える
- 不安・悩みを抱える子どもたちのサポートの充実
- いろいろな人の生き方を聞く機会の創出
- 制服・標準服・私服を選択しやすい環境づくり
- マスクは自己判断という雰囲気醸成
- 奨学金など支援制度の啓発

佐賀の未来を担う、 多様な個性を持った 人材を育てる

佐賀県全体が学びのフィールドです。時代の変化を見据え、創造力や構想力を持つ多様な人材を育てる環境を整えていきます。



- 子どもの自己判断・責任を尊重
- 自分で決めることの大切さについてメッセージを発信
- 学校の役割の範囲を決める
- 先生の仕事の素晴らしさに焦点をあてる
- 唯一無二の学校を目指す戦略的教職員配置
- 県外からも含め、県内高校への進学者を増やす取組の推進
- 大学と幼児・小・中・高との連携など、一気通貫型の学習機会の研究
- 小学生の時期から佐賀の企業を紹介して選択肢に幅を持たせていく
- 様々な部活に挑戦できる機会の創出
- 大胆なデジタル化を推進